

平成25年度第2回福岡県森林環境税事業評価委員会 議事録 【要旨】

日時：平成26年3月27日（木）

13：30～16：00

場所：吉塚合同庁舎 7階 特6会議室

【1 開会】

(司会)

(配布資料の確認)

- ・会議次第（A4、1枚）
- ・委員名簿（A4、1枚）
- ・平成26年度森林づくり活動公募事業応募状況（A4、1枚）

(各委員の紹介)

- ・西日本短期大学緑地環境学科 教授 矢幡 久 委員長
- ・筑豊地区女性林業研究グループ副会長 加納 恵子 副委員長
- ・福岡県漁協女性部協議会副会長 石田 ツヤ子 委員
- ・特定非営利活動法人コンシューマー福岡理事長 柴富 伸子 委員
- ・福岡県町村会事務局長 中島 俊介 委員
- ・特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター代表 古賀 桃子 委員〔欠席〕
- ・福岡県農業協同組合中央会専務理事 林 達也 委員〔欠席〕

【2 農林水産部次長挨拶】

(農林水産部次長)

平成25年度第2回森林環境税事業評価委員会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、本委員会にご出席いただき誠に有り難うございます。また、日頃から、本県の森林・林業・木材産業の振興に、多大なご支援・ご協力を賜り、深く、厚くお礼申し上げます。

本県の森林・林業情勢につきましては、戦後を中心に植林された人工林が、主伐期を迎え、資源として本格的に利用可能な時期を迎えています。

一方で、2年前は八女地方で発生しましたが、近年多発する集中豪雨により、土砂災害防止といった森林の持つ機能の重要性が改めて認識されたところであります。

こうした状況を踏まえ、本県では、昨年3月に、今後の森林・林業の方向を示します「福岡県森林・林業基本計画」を策定したところであります。

県としましては、この計画に基づき、人工林の世代サイクルの回復や木材需要の拡大に向けた対策によりまして、持続可能な林業経営の確立を図っていくとともに、森林環境税を活用しました荒廃森林の再生などにより、健全な森林づくりを進めてまいります。

ので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、一点紹介させていただきます。今年の大河ドラマは「軍師官兵衛」でございます。福岡県が大いに注目される年となっております。

福岡城跡をはじめ、京築の馬ヶ岳城跡、筑豊の西光寺、筑後の水田天満宮といった黒田官兵衛ゆかりの見どころが県内各地にあります。大勢の方に本県を訪れていただけるよう、福岡県の元気と魅力を広く内外に発信してまいりたいと思います。

本日は、昨年12月から今年2月にかけて、ボランティア団体などから応募されました、平成26年度森林づくり活動公募事業の企画書の審査を行っていただきます。委員の皆様におかれましては、それぞれのご専門の立場から、忌憚のないご意見を賜りますようお願いしまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

【3 委員長挨拶】

(委員長)

本日は、平成26年度森林づくり活動公募事業の審査を行います。

年度末のお忙しいところ、本委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

さて、福岡県森林環境税は平成20年度から開始され、平成26年度は7年目にあたります。公募事業は年々応募件数が増加し、来年度事業の応募件数は56件です。森林の整備に対する県民の理解が深まり、参加者も増えており、来年度も1万6千人程度の方々が参加されると聞いています。

委員の皆様には、事前審査において、事業の内容、実現性、事業効果の3項目について評価いただきました。本日の委員会では、応募いただいた56件の活動についての審査ですので、議事が円滑に進みますように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【4 平成26年度森林づくり活動公募事業の応募状況】

(委員長)

それでは、「平成26年度森林づくり活動公募事業の応募状況」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(「平成26年度森林づくり活動公募事業の応募状況」について説明)

【5 平成26年度森林づくり活動公募事業の企画書の審査】

(委員長)

次に、森林づくり活動公募事業の企画書の審査に入ります。

審査の手順と企画書の推薦について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

先日、委員の皆様には、事前審査を行っていただいたところです。

本日は、その事前審査の結果をもとにご審議いただきます。その審議の内容を踏まえまして、各委員には最終の審査結果をご記入いただきます。

その後、事務局にて審査結果を取りまとめ、評価委員会として県に推薦する企画書を決定していただきたいと思います。

なお、本日ご欠席の古賀委員と林委員につきましては、事前審査の評点を、そのまま最終の評点として採用させていただく旨、ご了承をいただいております。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

(委員長)

では、審査に入ります。

(各委員からの主な意見)

- ・(委員) 会員さん中心の活動で活動の広がりが乏しい企画や、物品購入の単価が高い企画があります。
- ・(委員) 評価に際して、シンポジウム等のみの企画もしくは現場内活動のみの企画をどう評価するかという視点があると思います。
- ・(委員) 昨年開催された「ふくおかの森林づくり発表会」に参加して、公募事業に携わっている方々から直接お話を聞いて、森林や里山の整備などの作業を伴う活動は、目新しさは無くても、準備など本当に苦労されているんだなと感じました。
- ・(委員) シンポジウム等の企画と実際に現場で作業をする企画、両方を取り入れている企画は歓迎したいと思います。
- ・(委員長) この事業は、森林づくり活動を県民の方に広めていく側面があるので、県民の皆さんが気軽に参加できるように、準備を進める団体の事務局側は苦労されていると思います。
- ・(委員) 事業で竹林整備を実施した箇所で、伐採した竹材の利用やその後の地元の竹林管理につながっている事例があります。

・(委員) この事業は、県民の皆さんが頑張っていて活動されて、事業費以上の大きな効果が上がっている気がします。

(委員長)
今までの議論をもとに、最終的な審査結果を記入してください。

(事務局)
(審査表回収、集計、提示)

(委員長)
審査結果表を見て、ご異議がなければ、このとおりに、県に推薦したいと思います。
ご異議ありませんでしょうか。

(委員一同)
異議ありません。

(委員長)
それでは、事務局から、今後の事業採択について説明をお願いします。

(事務局)
県では、本日の推薦を受けまして、予算の範囲内で採択事業を決定いたします。
なお、採択結果につきましては、全ての応募団体に通知しますとともに、決定した採択事業につきましては、県のホームページを通じて公表いたします。

(委員長)
分かりました。それでは森林づくり活動公募事業の審査を終了します。

【6 閉会】

(委員長)
これをもちまして、平成25年度第2回森林環境税事業評価委員会を終了させていただきます。
委員のみなさまには、進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

(課長)
本日は、長い時間にわたりましてご熱心に審査いただきまして、誠にありがとうございました。

いました。

県としましては、本日の審査結果を踏まえまして、速やかに採択する森林づくり活動を決定いたします。

また、残念ながら不採択となった活動もございますので、そうした団体の皆様には、企画力や広報力を高めるセミナーの開催情報の提供などにより、フォローアップをしていきたいと考えております。

今後とも、委員の皆さまのご意見を賜りながら、この事業をより良いものにしていきたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。